

---

---

平成21年度

第1回 低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド(試行実施)

応募要領

---

---

**事務局・連絡先**

事業全般に関するお問合せ先

川崎市環境局地球環境推進室

E-mail: [30tisui@city.kawasaki.jp](mailto:30tisui@city.kawasaki.jp) (\*30: 数字で"30")

TEL: 044-200-2514 FAX: 044-200-3921

応募方法、説明会、講習会に関するお問合せ先・申込み先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 環境・エネルギー部

E-mail: [k-co2@murc.jp](mailto:k-co2@murc.jp) (\*co2: 英語で"co"に数字で"2")

TEL: 03-6711-1243 FAX: 03-6711-1289 担当: 大澤、加山、金谷

## (応募要領)

### 1. 目的と特徴

地球規模での温室効果ガス排出削減のためには、工場・事業所からの直接排出分を把握し管理するだけでなく、事業活動をライフサイクル全体で総合的に評価した上で望ましい取り組みを推進していくことが重要といえます。特に、製品は、原材料調達、製造、流通・販売、使用・維持管理、廃棄・リサイクル、それぞれの段階で、CO<sub>2</sub>を排出しており、このライフサイクル全体でのCO<sub>2</sub>排出を削減することが、地球規模でのCO<sub>2</sub>削減につながります。

こうしたことから、川崎市では、下記を目的、特徴とする認定制度「低CO<sub>2</sub>川崎ブランド」を検討しています。平成21年度は試行的に「低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド」を選定するため、川崎市内で研究開発または製造されライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>削減に貢献している製品・技術を募集します。

#### 低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの目的

ライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>削減に貢献する川崎発の製品・技術を評価し、広く発信することを通して地球温暖化防止を図ります。

ライフサイクル全体でのCO<sub>2</sub>削減効果の考え方を普及させることにより、市民や企業の環境意識・スキルを向上します。

#### 低CO<sub>2</sub>川崎ブランドの特徴

- 原材料調達時・製品使用時のCO<sub>2</sub>排出削減や低CO<sub>2</sub>技術の開発等、製品・技術のライフサイクル全体を通じた温暖化防止への貢献を対象とします。
  - 最終製品だけでなく、素材や部品等の製品も対象とします。
  - 企業の規模を問わず、中小企業を含めた幅広い取り組みを対象とします。
  - 生産活動だけでなく、製品の研究開発や製造プロセスの技術移転による貢献も対象とします。
  - 既に普及している優れた取り組みだけでなく、開発されて間もない製品・技術の他、将来的な普及によってCO<sub>2</sub>削減が見込まれる製品・技術も対象とします。
- 製品・技術のライフサイクル全体を通じたCO<sub>2</sub>削減量を実際に算定いただきます。
  - ブランドへの応募、広報を通じ、CO<sub>2</sub>削減量算定の考え方を普及させることも目的としています。
  - 二次審査シートを記入いただくための講習会・相談会を開催し、削減量の算定方法や審査シートの記入方法に関する説明を行いますので、一次審査応募時点で正確な削減量の算定結果は不要です。

(応募要領)

## 2. 部門

### (1) 川崎育ち部門

川崎市内で製造され、ライフサイクル全体において CO<sub>2</sub> 排出削減に貢献している製品・技術  
ライフサイクル全体とは、製造工程での CO<sub>2</sub> 排出削減だけでなく、使用時の省エネルギーや、廃棄物を原料として調達することによる CO<sub>2</sub> 排出量の削減等を含むことを意味します。

例えば、再生原料を用いた生活用品、省エネ家電及びその部品などが該当します。

(川崎市内で、研究開発及び製造された製品・技術はこの部門に含みます。)

### (2) 川崎生まれ部門

川崎市内で研究開発(または確立)され、ライフサイクル全体において CO<sub>2</sub> 排出削減に貢献している製品・技術

この部門には、川崎市内で研究開発され、ライフサイクル全体において CO<sub>2</sub> 削減に貢献している製品・技術(例えば市内で研究開発された省エネ製品・技術)、川崎市内で確立され、市外・海外に技術移転されて CO<sub>2</sub> 削減に貢献している生産プロセス技術の2種類の製品・技術が含まれます。

(なお、川崎市内で研究開発及び製造された製品・技術は(1)「川崎育ち部門」とし、この部門には該当しません。)

## 3. 選定基準

低 CO<sub>2</sub> 川崎パイロットブランドの選定にあたっては、市内の企業の取り組みの動機付けとなる、または市民の意識を啓発するなど、市全体における CO<sub>2</sub> 削減の取り組みの一層の推進を期待し、下記の基準を満たすと評価される製品・技術を選考します。下記の選定条件は、2. に示した2つの部門(川崎育ち部門、川崎生まれ部門)において共通とします。

なお、次の4つの観点から総合的に評価を行いますが、～ のすべてに該当する必要はありません。

#### CO<sub>2</sub> 削減貢献の大きさ

原材料調達、流通・販売、使用・維持管理、廃棄・リサイクルといった生産以外の段階において CO<sub>2</sub> 排出量を削減することで社会全体の CO<sub>2</sub> 排出削減に貢献していること<sup>1</sup>。

#### 独自性・先進性

同種の製品・技術と比較して、CO<sub>2</sub> 排出削減のための独自の工夫や先進的な技術が活用されており、優れた取り組みの他の企業への普及が期待されること。

#### 市民・社会への啓発効果

その製品・技術の普及によって市民の意識啓発や取り組みの促進が期待されること。

<sup>1</sup> 本事業の背景には、事業所からの直接的な CO<sub>2</sub> 排出量を管理するだけでなく、事業活動をライフサイクル全体で総合的に評価した上で望ましい取り組みを推進していくことが重要という考えがあります。このため、パイロットブランド選定においても、ライフサイクル全体での CO<sub>2</sub> 削減に加え、直接排出量以外の CO<sub>2</sub> 削減(原材料調達や使用といったいわゆる間接的な CO<sub>2</sub> 削減)に貢献している製品・技術を発掘し評価することとしています。

## (応募要領)

### 将来性

現時点ではその製品・技術は CO<sub>2</sub> 削減効果が小さい、または製品・技術の販売（稼働）が開始されていないが、将来的に製品・技術が普及することで有効な CO<sub>2</sub> 排出削減が期待されること。

## 4. 応募方法

### (1) 応募対象

川崎育ち部門：川崎市内に製造事業所があり、川崎市内で製造された製品・技術

川崎生まれ部門：川崎市内で研究開発された製品・技術

川崎市内で確立された生産プロセス技術

#### <部門共通の留意事項>

一般消費者向けの製品・サービスはもちろん、産業向け・業務用の製品・サービス(いわゆる B to B) の応募も対象になります。

最終製品の一部における関与であっても、川崎市内の事業所による CO<sub>2</sub> 削減への関与分が評価できれば、応募できます。例えば、省エネにすぐれた製品のある部品のみを市内で製造している場合、最終製品の CO<sub>2</sub> 削減量に対するその部品の貢献分を示すことができれば応募できます。

1 企業から 1 部門に 2 件以上の製品・技術に応募することも可能です。但し、応募多数の場合、一次審査にて数を限定することがあります。

特許に絡んで係争中のもの、または係争の恐れがあるものは応募できません。

### (2) 応募資格

市内に製造または研究開発を行う事業所があり、過去 1 年以上の操業実績があること。

川崎市内に事業所があっても、業務内容が販売や使用・管理のみの場合は対象とはなりません。

事業者の規模及び業種は問いません。但し、応募多数の場合、平成 21 年度は製造業を優先します。応募者が重大な法令違反等をかかえている場合は応募できません。

資格を確認するために、二次審査シートの添付書類として、市民税納税証明書の写しを提出いただきます。

### (3) 応募スケジュール

応募希望者は、下記のスケジュールで説明会へ参加し、一次審査シートを提出してください。

(二次審査シートの提出については、説明会及び算定講習会において詳しくご説明します。)

低 CO<sub>2</sub> 川崎ブランドに関する説明会 (10 月 1 日 (木))

一次審査シートの提出 (10 月 9 日 (金) 締め切り)

CO<sub>2</sub> 削減川崎モデルに関する算定講習会 (10 月 16 日 (金))、算定相談会 (10 月 22 日 (木)・28 日 (水))

二次審査シートの提出 (11 月 9 日 (月) 締め切り)

一次審査の応募期間 平成 21 年 10 月 1 日 (木) から平成 21 年 10 月 9 日 (金) まで 必着

二次審査の応募期間 平成 21 年 10 月 16 日 (金) から平成 21 年 11 月 9 日 (月) まで 必着

(応募要領)

(4) 必要書類

一次審査シート

応募者は、応募案件ごとに、一次審査シート（別紙参照）に必要事項を記入のうえ、電子媒体（電子メール送信）及び書面（書面は各2部をA4版でプリントアウトの上、郵送）の両方を提出してください。

二次審査シート

応募者は、応募案件ごとに、様式1（必須）様式2または3（いずれか一方。必須）の2点を1セットとして、必要事項を記入のうえ、電子媒体（電子メール送信）及び書面（書面は各2部をA4版でプリントアウトの上、郵送）の両方を提出してください。

<書類一覧>（別紙参照）

一次審査シート		会社概要、製品・技術の概要、データ整備状況等
二次審査シート (様式2、3は いずれか一方)	様式1	申請書、製品・技術の概要*
	様式2	CO <sub>2</sub> 削減効果の概要(川崎育ち部門、川崎生まれ部門)
	様式3	CO <sub>2</sub> 削減効果の概要(川崎生まれ部門)

\*添付書類として、市民税納税証明書の写しを提出してください。市民税納税証明書の写しが提出できない場合はご相談ください。

、ともに、申請書類は下記ホームページからも入手できます。

<http://www.city.kawasaki.jp/30/30tisui/top/tisui-top.html>

<http://www.k-co2brand.com/>（10月1日頃より公開予定）

応募の要件を満たさない方からの申請書類や、不備がある申請書類は、受理できません。（提出期限までに不備を修正できない場合は、当該申請は無効となります。）

提出先

（郵送にて）〒108-8248 東京都港区港南 2-16-4

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 環境・エネルギー部 大澤宛

（電子メールにて）E-mail：[k-co2@murc.jp](mailto:k-co2@murc.jp)（\*co2: 英語で"co"に数字で"2"）

Wordファイルで送信してください。メールが使えない場合は、データを電子媒体に入れて書類とともに郵送してください。

（問い合わせ）E-mail：[k-co2@murc.jp](mailto:k-co2@murc.jp) TEL：03-6711-1243 FAX:03-6711-1289

事業全般に関する問い合わせ先

川崎市環境局地球環境推進室

E-mail：[30tisui@city.kawasaki.jp](mailto:30tisui@city.kawasaki.jp)（\*30: 数字で"30"）

TEL：044-200-2514 FAX 044-200-3921

(5) 応募料および審査料

無料。但し、申請書類の作成および応募にかかる費用については、応募者の自己負担となります。

(応募要領)

5. 説明会及び算定講習会について

(1) 低 CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランドに関する説明会

環境配慮製品に関心のある市民・企業を広く対象とし、ライフサイクル的考え方を核とする川崎 CO<sub>2</sub>削減モデル、低 CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランドについて広く周知することを目的とし、下記の通り低 CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランドに関する説明会を開催します。

本説明会の中で、応募意向の確認のためのアンケートを実施いたしますので、応募希望者はご出席ください(応募を希望または検討する企業で、当日出席できない場合は、事務局までご連絡ください)。また、説明会への参加は事前の申し込みが必要となります。

日時：平成 21 年 10 月 1 日(木) 14:00~15:30

場所：ミュージア川崎シンフォニーホール 4F 音楽工房 第一研修室

(JR 川崎駅より徒歩 3 分。〒212-8557 川崎市幸区大宮町 1310 Tel.044-520-0100)

申込み先：三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部 大澤宛

E-mail : k-co2@murc.jp (\*co2: 英語で "co" に数字で "2")

申込み方法：参加を希望される方は、平成 21 年 9 月 30 日(水)までに、上記宛に、企業名、所属、役職、氏名、連絡先 (E-mail アドレス、電話番号) を明記の上、電子メールにてご登録ください。

登録いただいた方は全て参加可能とし、受付票等の送付はしません。

個人情報の取扱については、(5) 必要書類と同様とさせていただきます。

(2) 算定講習会

応募希望者を対象に、ライフサイクル全体での CO<sub>2</sub>削減効果を算定するための算定講習会を実施します。この算定講習会は、応募希望者が申請書類に記入するためのアドバイスを行うことを目的としていますが、同時に、市内企業の製品・技術のイノベーション及び競争力の増大を図るため、応募希望者以外の参加も受け付けます。

本講習会は、LCA ソフトをご活用いただくために、PC を持参いただいで参加いただく実践的なものです。この応募希望の方は、企業内における算定方法の共有を進めていただくため、できるだけ 2 名で参加されることをお勧めします。また、算定講習会への参加は事前の申し込みが必要となります。

なお、この講習会には、できる限りご参加くださいますようお願いいたします。自社で、ライフサイクル全体での CO<sub>2</sub>削減効果を算定いただいてもかまいません。

日時：平成 21 年 10 月 16 日(金) 10:00~15:30 (昼食休憩 1 時間を含む)

場所：川崎市教育文化会館第 6 会議室

申込み先：三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 環境・エネルギー部 大澤宛

E-mail : [k-co2@murc.jp](mailto:k-co2@murc.jp) (\*co2: 英語で "co" に数字で "2")

申込み方法：受講を希望される方は、10 月 12 日(火)までに、上記宛に、氏名、連絡先 (E-mail アドレス、電話番号) 職業(所属、役職) パイロットブランド応募の有無を明記の上、電子メールにてご登録ください。

なお、申込みは 1 企業につき 1 回の電子メール送信としてください。受講希望者が定員

(応募要領)

を超過した場合には、本制度への応募希望者を優先させていただくことがあります。

6. 審査・選定

(1) 審査体制

低 CO<sub>2</sub>川崎ブランド事業のあり方を検討するために設置された「低 CO<sub>2</sub>川崎ブランド企画委員会」において審査・検討を行います。(なお、23年度以降の本格実施においては、川崎市にて設置された審査委員会によって審査を行う予定です。)

(2) 審査・選定の方法

一次審査

提出された一次審査シートに基づき、下記の基準によって一次審査による選別を行います。

<一次審査の基準>

- ・ 川崎で研究開発されている、または製造されていること(必須)
- ・ CO<sub>2</sub>削減効果の算定に必要なデータの整備、開示準備がされているか
- ・ 市内企業・市民の取り組み推進が期待されるか

なお、試行実施である本年度においては、製品・技術の種類、企業の規模等のバランスを優先して選別を行うことがあります。

二次審査

提出された二次審査シートに基づき、3.で示した選定基準によって、低 CO<sub>2</sub>川崎ブランド企画委員会において審査を行います。必要に応じてヒアリングによる確認を行う場合があります。

ブランドの承認・選定

低 CO<sub>2</sub>川崎ブランド企画委員会における助言に基づき、川崎市において の審査結果を承認、選定を行います。

(3) 試行実施結果の公表

選定結果は、平成22年1月頃に各報道関係者に公表するとともに、ホームページ等で発表します。

選定された製品・技術は、平成22年2月に開催される川崎国際環境技術展においても発表します。当該企業の方には、川崎市内外での講演会等で取組内容の紹介をお願いすることがあります。

(4) 低 CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド試行実施結果報告会

開催時期：平成22年2月頃(予定)

出席予定者：川崎市長

7. その他

パイロットブランドとして選定された製品・技術の製造事業者または研究開発者は、当該製品・技術に低 CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランドを示すマークを選定結果発表日以降表示し、広告等に活用することができます。このマークは、川崎市がその表示権をパイロットブランド事業者に無償で供与するも

(応募要領)

ので、事業者には別途定める使用規定を遵守して、責任を持ってマークを管理していただきます。

注意事項

以下の事項について、あらかじめ承諾のうえ、ご応募ください。

申請書類及び審査の過程等で求める資料は返却しません。

申請書類及び審査の過程等で虚偽が判明した場合には、応募を無効とします。

審査経緯及び選定結果に対する異議の申し立てについては、お受けしません。

試行実施結果の公表後に、パイロットブランドとしてふさわしくない事由が判明した場合には、その選定を取り消すことがあります。

守秘義務

申請書類その他の提出書類で知り得た情報については、当該事業の審査以外に利用及び公開はいたしません。申請書類その他の提出書類に係る機密保持には、当事務局において十分配慮致します。なお、選定された場合には不開示情報（個人情報、法人の正当な利益を害する情報等）を除いて情報公開の対象となります。

個人情報の取扱いについて

本事業は、主催者である川崎市より委託を受け、三菱UFJリサーチ&コンサルティングが事務局を務めております。ご記入いただいた個人情報は、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの「個人情報保護方針」および、「個人情報の取扱いについて」に従って適切に取り扱います。

(詳しくは、HPをご参照ください。URL：<http://www.murc.jp/profile/privacy.html>)

記入いただいた個人情報は、本事業に関するご連絡のために利用させていただきます。

お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、下記までご連絡ください。

三菱UFJリサーチ&コンサルティング 環境・エネルギー部 大澤

E-mail：[k-co2@murc.jp](mailto:k-co2@murc.jp) (\*co2: 英語で"co"に数字で"2") TEL：03-6711-1243

(一次審査シート)

平成21年度 低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド  
一次審査シート

応募年月日 平成 年 月 日

1. 会社概要

会社名			
代表者名			
本社所在地	〒		
業務内容		業種	
Web サイト (あれば)	http://		
担当者及び 担当者連絡 先	所属部署		役職
	氏 名		
	住 所	〒	
	電 話		
	F A X		
	E - mail		

2. 応募製品・技術の概要

製品・技術の名称	
製品・技術の概要	
製品・技術の販売 (導 入) の実績 (該当するものに、 カッコ内にご記入くださ い)	1. 既に販売 (導入) 実績がある 販売 (導入) 開始時期をご記入ください ( ) 2. 今後、販売 (導入) を予定している 販売 (導入) 予定時期をご記入ください ( ) 3. 研究開発の段階である
川崎市との関わり (該当するものに )	1. 応募製品・技術の研究開発が川崎市内で行われている 2. 応募製品・技術の製造が川崎市内で行われている
製品・技術の内容を把握 できる Web サイト (あれば)	http:// その他、製品・技術のパンフレット等があれば添付してください。

(一次審査シート)

低 CO <sub>2</sub> のポイント (従来製品・技術に比べ、CO <sub>2</sub> 等の削減へ貢献している優れた点、先進性、独自性、PR ポイントについて、ライフサイクル毎にご記入ください。)	原材料調達段階	
	生産段階	
	流通・販売段階	
	使用・維持管理段階	
	廃棄・リサイクル段階	
二次審査シート様式 1 記入例(P23)をご参照ください。		
その他の PR ポイント	(CO <sub>2</sub> 等の削減以外に環境負荷低減に貢献する事項(ex.廃棄物削減、有害物質フリーなど) 他の表彰制度の受賞、関連する特許等があれば記載してください。)	

### 3 . 削減効果算定に向けたデータ整備状況

対象製品・技術のLC-CO <sub>2</sub> 算定を実施したことはありますか?	1 . はい    2 . 実施中    3 . 検討中
対象製品・技術に関わらず、LC-CO <sub>2</sub> 算定を実施したことはありますか?	1 . はい    2 . 実施中    3 . 検討中
対象製品・技術にかかるエネルギー量を把握していますか?	1 . はい    2 . 実施中    3 . 検討中
対象製品・技術にかかる原材料を定量的(重量等)に把握していますか?	1 . はい    2 . 実施中    3 . 検討中
環境マネジメントの取り組みについて (当てはまるものすべてに )	1 . 環境報告書・CSR レポート等の作成 2 . 環境マネジメントシステムの導入 3 . その他( )

### 4 . 算定講習会への参加意向

算定講習会への参加(1つに )	1 . 参加する    2 . 参加しない    3 . 分からない
-----------------	------------------------------------

<b>【提出期限】</b> 平成21年10月1日から平成21年10月9日まで 必着 <b>【提出方法】</b> 電子媒体(電子メール送信)及び書面(各2部をプリントアウトの上、郵送)を下記に提出(詳細は応募要領をご参照ください) <b>【提出先】</b> 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 環境・エネルギー部 担当:大澤 Eメール: k-co2@murc.jp (*co2: 英語で"co"に数字で"2") 電話: 03-6711-1243 FAX: 03-6711-1289
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成21年度 第1回低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド二次審査シート：様式1

応募年月日 平成 年 月 日

応募企業の概要等

応募部門 該当する部門に 印 を記入してください	<input type="checkbox"/> 川崎育ち部門 <input type="checkbox"/> 川崎生まれ部門 <input type="checkbox"/> 川崎生まれ部門		
会社名			
代表者名			
本社所在地	〒		
対象製品・技術の 研究開発・製造 事業所名 (本社の場合は不要)			
上記事業所の所在地	〒		
上記事業所の業務内容 (簡単に)			
業種		上記事業所の 従業員数	人
応募製品・技術の内容を 把握できる Web サイト	http://		
法律違反、係争について 確認し、 印を記入	<input type="checkbox"/> 過去3年間、行政庁等から法令違反の指摘を受けたことがない <input type="checkbox"/> 対象製品・技術について、特許に絡んだ係争中ではない		
担当者及び 担当者連絡 先	所属部署		役職
	氏 名		
	住 所	〒	
	電 話		FAX
	E - mail		

本書類の添付書類として、「市民税納税証明書」の写しを提出してください。

**応募製品・技術の概要**

発売・提供開始(予定) 年月	年 月	
対象となる製品・技術の 名称		
製品・技術の概要		
低 CO <sub>2</sub> のポイント (従来製品・技術に比べ、 CO <sub>2</sub> 等の削減へ貢献してい る優れた点、先進性、独自 性、PR ポイントについて、 ライフサイクル毎にご記入 ください。)	原材料調達段 階	
	生産段階	
	流通・販売段階	
	使用・維持管理 段階	
廃棄・リサイク ル段階		
川崎市との関わり 該当する項目に 印 を記入してください	1. 応募製品・技術の研究開発が川崎市内で行われている 2. 応募製品・技術の製造が川崎市内で行われている	
その他の PR ポイント	(CO <sub>2</sub> 削減以外の環境負荷低減効果など等)	
製品・技術の販売(導入) 実績 (単位は金額ではなく販売 台数等の個数でご記入く ださい。本項目の記入は任意 とします。)	累計販売(導入)実績	
	2008 年度販売(導入)実績	
	( ) 年度販売(導入)見通し	

(二次審査シート 様式2：川崎育ち部門、川崎生まれ部門 )

平成21年度 第1回低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド二次審査シート：様式2  
CO<sub>2</sub>削減効果の概要(川崎育ち部門、川崎生まれ部門 )

製品・技術の名称		
製品・技術の機能 製品・技術が有する 機能、主な性能特性		
機能単位 対象製品・技術の機能 をある単位で定量化 したもの。		
比較対象となる製品・技術(ベースライン)	製品・技術の概要	
	選択理由・根拠	
製品・技術のライフサイクルのフロー 生産が複数の段階に分かれる場合にはサブシステムを含めて図示してください。 川崎市内での工程がわかるようにして下さい。	対象製品・技術	
	ベースライン 申請製品・技術のフローと同じであれば省略可能です。	
システム境界 上記のライフサイクルのうち、省略されたプロセスがあれば明記してください。		
	カットオフ基準	

(二次審査シート 様式2：川崎育ち部門、川崎生まれ部門 )

製品・技術の耐用 (使用)年数		(単位：年 /その他 )	
算定対象期間		基本は過去1年間に生産された製品・技術によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減貢献を算定対象とする。	
算定対象のガス 該当する項目に印 を記入してください (二酸化炭素の算定は 必須とし、その他のガ スは任意とします。)		<p>( 1 ) 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) のみを算定対象とする</p> <p>( 2 ) 該当する6種類の温室効果ガス全てを算定対象とする</p> <p>( 3 ) 原則、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) を算定対象とした上で、一部のライフサイクルについて、6種類の温室効果ガスを算定対象とする</p> <p>( 3 ) を選択した場合、CO<sub>2</sub> 以外のガスを算定対象とした段階について具体的に記入してください。</p> <p>( _____ )</p> <p>6種類の温室効果ガスとは、CO<sub>2</sub> に加え、メタン (CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素 (N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン類 (HFC)、パーフルオロカーボン類 (PFC)、六ふっ化硫黄 (SF<sub>6</sub>)</p>	
データ収 集の手順	申請 製品・ 技術		
	ベース ライン		
算定の手順			
最終製品のCO <sub>2</sub> 削減に対する当該製品・技術の寄与率 製品・技術が最終製品ではなく、その一部を構成する製品・技術の場合のみ。	寄与率設定の考え方		
	寄与率		

(二次審査シート 様式2：川崎育ち部門、川崎生まれ部門 )

**データの根拠となる出典資料**

データの根拠	
GHG 換算係数の出典	
a	
b	
c	

\*上記に挙げたデータの根拠となる出典資料(写しも可)を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておいてください。

**ライフサイクルの段階別インプット・アウトプット量(対象製品・技術)**

<原材料調達>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

\*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

<生産>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

\*原材料調達の段階に記載した項目と重複する項目は記入しないでください。

(二次審査シート 様式2：川崎育ち部門、川崎生まれ部門 )

<流通>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

<使用>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

<廃棄・リサイクル>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

(二次審査シート 様式2：川崎育ち部門、川崎生まれ部門 )

ライフサイクルの段階別インプット・アウトプット量(ベースライン製品・技術)

<原材料調達>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

<生産>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

<流通>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

<使用>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

(二次審査シート 様式2：川崎育ち部門、川崎生まれ部門 )

< 廃棄・リサイクル >

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
アウ ト プ ット						
合計						

算定結果

	算定式	算定結果
1 機能あたり CO <sub>2</sub> 排出削減量		( g CO <sub>2</sub> 、CO <sub>2</sub> -eq )
CO <sub>2</sub> 排出量削減率		( % )
1 年間の CO <sub>2</sub> 排出削減量 記入は任意です。		( g CO <sub>2</sub> 、CO <sub>2</sub> -eq )

平成21年度 第1回低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド二次審査シート：様式3  
CO<sub>2</sub>削減効果の概要 (川崎生まれ部門 )

製品・技術の名称		
製品・技術の機能 製品・技術が有する機能、主な性能特性		
機能単位 対象製品・技術の機能をおある単位で定量化したもの。		
製品・技術の導入対象地域 該当する項目に印を記入してください。	( )国内 / ( )国外 ( 具体的国名 : _____ )	
比較対象となる製品・技術 ( ベースライン )	製品・技術の概要	
	選 択 理 由・根拠	
製品・技術の導入先における生産工程のフロー図 導入先の生産工程の概要を図示した上で、申請するCO <sub>2</sub> 削減効果の算定におけるシステム境界を点線等で図示してください。	対 象 製 品・技 術	
	ベ ー ス ラ イ ン	

( 二次審査シート 様式 3 : 川崎生まれ部門 )

算定対象期間		基本は過去 1 年間に生産された製品・技術による CO <sub>2</sub> 排出量の削減貢献を算定対象とする。	
算定対象のガス 該当する項目に 印を記入してくださ い ( 二酸化炭素の算定 は必須とし、その他の ガスは任意としま す。)		<p>( 1 ) 二酸化炭素 ( CO<sub>2</sub> ) のみを算定対象とする</p> <p>( 2 ) 該当する 6 種類の温室効果ガス全てを算定対象とする</p> <p>( 3 ) 原則、二酸化炭素 ( CO<sub>2</sub> ) を算定対象とした上で、一部のライフサイクル について、6 種類の温室効果ガスを算定対象とする</p> <p>( 3 ) を選択した場合、CO<sub>2</sub> 以外のガスを算定対象とした段階について 具体的に記入してください。</p> <p>( _____ )</p> <p>6 種類の温室効果ガスとは、CO<sub>2</sub> に加え、メタン ( CH<sub>4</sub> ) 、一酸化二窒素 ( N<sub>2</sub>O ) 、ハイドロ フルオロカーボン類 ( HFC ) 、パーフルオロカーボン類 ( PFC ) 、六ふっ化硫黄 ( SF<sub>6</sub> )</p>	
データ収 集の手順	申請 製品・ 技術		
	ベース ライン		
算定の手順			
製品・技術の CO <sub>2</sub> 削減に対する応募 事業者の研究開発 の寄与率 製品・技術が応募 事業者の研究開 発単独の成果で はない場合のみ。	寄与率設定の考え 方		
	寄与率		

データの根拠となる出典資料

データの根拠	
GHG 換算係数の出典	
a	
b	
c	

\* 上記に挙げたデータの根拠となる出典資料 ( 写しも可 ) を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておいてください。

**導入先における生産工程の CO<sub>2</sub> 排出量 (対象製品・技術)**

	項目	データ (単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

\*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

\*ライフサイクルの各段階での重複のないように記入してください。以下同じ。

**導入先における生産工程の CO<sub>2</sub> 排出量 (ベースライン製品・技術)**

	項目	データ (単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット						
ア ウ ト プ ット						
合計						

**算定結果**

	算定式	算定結果
1 機能あたり CO <sub>2</sub> 排出削減量		( g CO <sub>2</sub> , CO <sub>2</sub> -eq )
CO <sub>2</sub> 排出量削減率		( % )
合計 CO <sub>2</sub> 排出削減量 記入は任意です。		( g CO <sub>2</sub> , CO <sub>2</sub> -eq )

平成 21 年度 第 1 回低 CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド二次審査シート：様式 1

応募年月日 平成 21 年 11 月 4 日

## 応募企業の概要等

応募部門 該当する部門に 印 を記入してください	<input type="checkbox"/> 川崎育ち部門 <input type="checkbox"/> 川崎生まれ部門 <input type="checkbox"/> 川崎生まれ部門			
対象となる製品・技術の 名称	コードレススチームアイロン XX01			
会社名	株式会社川崎			
代表者名	川崎 太郎			
本社所在地	〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地			
対象製品・技術の 研究開発・製造 事業所名 (本社の場合は不要)	同上			
上記事業所の所在地	〒			
上記事業所の業務内容 (簡単に)	アイロン、ドライヤー等の小型電気製品の製造			
業種	電気機器製造業	上記事業所の 従業員数	300 人	
応募製品・技術の内容を 把握できる Web サイト	<a href="http://www.kawasaki">http://www.kawasaki</a>			
法律違反、係争について 確認し、 印を記入	<input type="checkbox"/> 過去 3 年間、行政庁等から法令違反の指摘を受けたことがない <input type="checkbox"/> 対象製品・技術について、特許に絡んだ係争中ではない			
担当者及び 担当者連絡 先	所属部署	環境部	役職	係長
	氏 名	川崎 次郎		
	住 所	〒210-8577 川崎市川崎区宮本町 1 番地		
	電 話	044-200-2111		
	F A X	044-200-2111		
	E - mail	***@kawasaki.jp		

本書類の添付書類として、「市民税納税証明書」の写しを提出してください。

## 応募製品・技術の概要

発売・提供開始(予定)年月	2007年 4月	
製品・技術の概要	コードレススチームアイロン XX01 は、スチームカバー率(スチームカバー寸法/かけ面寸法)を2倍とすることで、本体をコンパクト化している。 本体寸法:高さ130×長さ211×幅104mm、本体質量:約1.0kg、消費電力:1200W。	
低CO <sub>2</sub> のポイント (従来製品・技術に比べ、CO <sub>2</sub> 等の削減へ貢献している優れた点、先進性、独自性、PRポイントについて、ライフサイクル毎にご記入ください。)	原材料調達段階	本体をコンパクト化し、従来比10%の原材料削減を実現。包装緩衝材を、発泡スチロールから古紙利用に変更。
	生産段階	組み立てプロセスで、従来比5%の省エネルギーを実現。
	流通・販売段階	本体のコンパクト化により、流通にかかるエネルギー消費を削減。
	使用・維持管理段階	スチームカバー率を2倍とすることで、スチーム時の電力消費を節減。自動電源オフ機能により、使用時の電源切り忘れによる電力消費を節減。
	廃棄・リサイクル段階	耐熱性・耐久性に優れた素材を採用し、製品の長寿命化を実現。
川崎市との関わり 該当する項目に印を記入してください	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 応募製品・技術の研究開発が川崎市内で行われている <input checked="" type="checkbox"/> 2. 応募製品・技術の製造が川崎市内で行われている	
その他のPRポイント	(CO <sub>2</sub> 削減以外の環境負荷低減効果など等)	
製品・技術の販売(導入)実績 (単位は金額ではなく販売台数等の個数でご記入ください。本項目の記入は任意とします。)	累計販売(導入)実績	12,000台
	2008年度販売(導入)実績	6,000台
	(2009)年度販売(導入)見通し	7,000台

(二次審査シート 様式2 記入例)

平成21年度 第1回低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド二次審査シート：様式2  
CO<sub>2</sub>削減効果の概要(川崎育ち部門、川崎生まれ部門)

製品・技術の名称	コードレススチームアイロン XX02	
製品・技術の機能 製品・技術が有する機能、主な性能特性	衣服のアイロン掛け	
機能単位 対象製品・技術の機能をある単位で定量化したもの。	1日15分、5年間の衣服のアイロン掛け	
比較対象となる製品・技術(ベースライン)	製品・技術の概要	対象製品(××02)の前機種であるコードレススチームアイロンXX01(2005年発売)
	選択理由・根拠	対象製品(××02)の前機種に相当し、同程度の出力、同程度の機能を有する。
製品・技術のライフサイクルのフロー 生産が複数の段階に分かれる場合にはサブシステムを含めて図示してください。	対象製品・技術	
	ベースライン 申請製品・技術のフローと同じであれば省略可能です。	同上
システム境界 上記のライフサイクルのうち、省略されたプロセスがあれば明記してください。	上記二重線の枠内をシステム境界とし、素材製造から部品製造、組立、使用、廃棄までを含める。但し間接部門(研究開発、事務、営業)の影響は含めない。スクラップは環境負荷ゼロでシステムに入り、同様に回収されたスクラップは環境負荷ゼロでシステムの外に出るとして評価する。	
	カットオフ基準	製品重量で3%未満の部材をカットオフする。
製品・技術の耐用(使用)年数	5(単位:年/その他)	

(二次審査シート 様式2 記入例)

算定対象期間	<p>基本は過去1年間に生産された製品・技術によるCO<sub>2</sub>排出量の削減貢献を算定対象とする。  <b>過去1年間(2008年4月1日~2009年3月31日)における川崎工場からの出荷</b></p>	
<p>算定対象のガス          該当する項目に印を記入してください          (二酸化炭素の算定は必須とし、その他のガスは任意とします。)</p>	<p>(1) 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)のみを算定対象とする          (2) 該当する6種類の温室効果ガス全てを算定対象とする          (3) 原則、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を算定対象とした上で、一部のライフサイクルについて、6種類の温室効果ガスを算定対象とする          (3)を選択した場合、CO<sub>2</sub>以外のガスを算定対象とした段階について具体的に記入してください。          ( _____ )          6種類の温室効果ガスとは、CO<sub>2</sub>に加え、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFC)、パーフルオロカーボン類(PFC)、六ふっ化硫黄(SF<sub>6</sub>)</p>	
データ収集の手順	対象製品・技術	<p>「樹脂部品成形工程」: 調達先における使用量をヒアリングにより収集。          「アルミダイカスト工程」: 使用量は実測値。歩留まり不明。          「アイロン組み立て工程」川崎工場における、コンプレッサー、照明、空調による電力消費量の実測値。合計値を製品個数で配分。          「流通段階」: 代表的な製品の輸送距離を元に、仮定。          「使用段階」: 設定値より標準的な仕様シナリオを設定。          「廃棄段階」: シュレッダーによる破碎は聞き取り調査。          その他、バイメタル、スイッチ接点、制御基盤は、素材構成が不明であり、取引先へのヒアリングにより有効な回答が得られなかったため、調査より除外した。</p>
	ベースライン	<p>「樹脂部品成形工程」: 対象製品の10%増と仮定。          「アルミダイカスト工程」: 対象製品の10%増と仮定。          「アイロン組み立て工程」2006年度、川崎工場における、電力消費量の実測値。合計値を製品個数で配分。          「廃棄段階」: 対象製品の10%増と仮定。          その他は、対象製品と同じ。</p>
算定の手順	<p>申請製品及びベースライン製品につき、Simple-LCAを用い、1製品あたりのLCCO<sub>2</sub>を算定し、その差に期間中の出荷量を乗じて、年間のLCCO<sub>2</sub>排出削減量を算定。</p>	
<p>最終製品のCO<sub>2</sub>削減に対する当該製品・技術の寄与率          製品・技術が最終製品ではなく、その一部を構成する製品・技術の場合のみ。</p>	寄与率設定の考え方	
	寄与率	

(二次審査シート 様式2 記入例)

データの根拠となる出典資料

データの根拠	
	当社川崎工場における実測値
	調達先A社(樹脂部品成型)からの聞き取り
	調達先B社(アルミダイカスト)からの聞き取り
	自治体からの聞き取り
	当社による仮定(標準的な製品の製造、流通、使用に関するデータ)
	Simple-LCA
	JLCA-DB (LCA日本フォーラムデータベース(2007年度第一版))
GHG換算係数の出典	
a	Simple-LCA
b	JLCA-DB (LCA日本フォーラムデータベース(2007年度第一版))

\*上記に挙げたデータの根拠となる出典資料(写しも可)を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておいてください。

ライフサイクルの段階別インプット・アウトプット量(対象製品・技術)

<原材料調達>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量(gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG係数
イン プ ッ ト	<樹脂部品成型> ABS樹脂	0.35kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
	<樹脂部品成型> 電力	0.3kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
	<アルミダイカスト> アルミ二次地金	0.7kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		b
	<アルミダイカスト> 電力	0.72kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
	<アルミダイカスト> LPG	31.9g	XXgCO <sub>2</sub> /g	XX		a
合計				XX		

\*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

<生産>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量(gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG係数
イン プ ッ ト	<アイロン組み立て> 電力	0.3kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
アウ ト プ ッ ト	製品 (スチームアイロン)					
合計				XX		

\*原材料調達の段階に記載した項目と重複する項目は記入しないでください。

(二次審査シート 様式2 記入例)

<流通>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	<樹脂部品成型> トラック輸送(4t車)	0.06tkm	XXgCO <sub>2</sub> /tkm	XX		a
	<アルミダイカスト> コンテナ船<4000TEU	0.98tkm	XXgCO <sub>2</sub> /tkm	XX		a
	<アイロン組み立て> トラック輸送(4t車)	0.2tkm	XXgCO <sub>2</sub> /tkm	XX		a
アウ ト プ ット	排出物					
合計				XX		

<使用>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	電力	304kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
	水道水	91kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
合計				XX		

<廃棄・リサイクル>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
アウ ト プ ット	破碎	1.0kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
	埋立	0.3kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
合計				XX		

ライフサイクルの段階別インプット・アウトプット量(ベースライン製品・技術)

<原材料調達>

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	<樹脂部品成型> ABS樹脂	0.35kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
	<樹脂部品成型> 電力	0.3kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
	<アルミダイカスト> アルミ二次地金	0.7kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		b
	<アルミダイカスト> 電力	0.72kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
	<アルミダイカスト> LPG	31.9g	XXgCO <sub>2</sub> /g	XX		a
合計				XX		

(二次審査シート 様式2 記入例)

<生産>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	<アイロン組み立て> 電力	0.3kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
ア ウ ト プ ット	製品 (スチームアイロン)					
合計				XX		

<流通>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	<樹脂部品成型> トラック輸送(4t車)	0.06tkm	XXgCO <sub>2</sub> /tkm	XX		a
	<アルミダイカスト> コンテナ船<4000TEU	0.98tkm	XXgCO <sub>2</sub> /tkm	XX		a
	<アイロン組み立て> トラック輸送(4t車)	0.2tkm	XXgCO <sub>2</sub> /tkm	XX		a
ア ウ ト プ ット	排出物					
合計				XX		

<使用>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	電力	304kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
	水道水	91kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
合計				XX		

<廃棄・リサイクル>

	項目	データ(単位)			出典	
		収集データ	GHG係数	CO <sub>2</sub> 排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
ア ウ ト プ ット	破碎	1.0kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
	埋立	0.3kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
合計				XX		

(二次審査シート 様式2 記入例)

算定結果

	算定式	算定結果
1 機能あたり CO <sub>2</sub> 排出削減量	ベースライン製品 LCCO <sub>2</sub> - 対象製品 LCCO <sub>2</sub>	XX ( g CO <sub>2</sub> , CO <sub>2</sub> -eq )
CO <sub>2</sub> 排出量削減率	( ベースライン製品 LCCO <sub>2</sub> - 対象製品 LCCO <sub>2</sub> ) / ベースライン製品 LCCO <sub>2</sub>	XX ( % )
1 年間の CO <sub>2</sub> 排出削減量 記入は任意です。	( ベースライン製品 LCCO <sub>2</sub> - 対象製品 LCCO <sub>2</sub> ) × 年間出荷量	XX ( g CO <sub>2</sub> , CO <sub>2</sub> -eq )

平成21年度 第1回低CO<sub>2</sub>川崎パイロットブランド二次審査シート：様式3  
CO<sub>2</sub>削減効果の概要(川崎生まれ部門)

製品・技術の名称	焼結機クーラ排熱回収技術	
製品・技術の機能 製品・技術が有する機能、主な性能特性	鉄鋼業の焼結機クーラからの高温排熱(排熱の一部(250~450))を回収し、それを蒸気(主に発電用中圧蒸気)として回収する技術。クーラで焼結鉱と熱交換された排風は、ボイラ・エコノマイザに導かれ、水と熱交換して蒸気を発生させる。この熱交換により温度が下がった排風は、クーラに戻され再び焼結鉱の冷却に使用される。	
機能単位 対象製品・技術の機能のある単位で定量化したもの。	焼結鉱 1 トン	
製品・技術の導入対象地域 該当する項目に印を記入してください。	( ) 国内 / ( ) 国外 ( 具体的国名 : <u>中国、インド</u> )	
比較対象となる製品・技術(ベースライン)	製品・技術の概要	焼結機クーラからの排熱利用がゼロのケース
	選択理由・根拠	当該技術は国内では多数導入されているが、中国、インド、中南米、東欧等における高炉鉄鋼業では普及していない。
製品・技術の導入先における生産工程のフロー図 導入先の生産工程の概要を図示した上で、申請するCO <sub>2</sub> 削減効果の算定におけるシステム境界を点線等で図示してください。	対象製品・技術	
	ベースライン	

(二次審査シート 様式3 記入例)

算定対象期間	基本は過去1年間に生産された製品・技術によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減貢献を算定対象とする。 過去1年間(2008年1月1日~2008年12月31日)における国外の技術提供先2工場における稼働	
算定対象のガス 該当する項目に 印を記入してくださ い (二酸化炭素の算定 は必須とし、その他の ガスは任意としま す。)	<p>(1) 二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)のみを算定対象とする</p> <p>(2) 該当する6種類の温室効果ガス全てを算定対象とする</p> <p>(3) 原則、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を算定対象とした上で、一部のライフサイクルについて、6種類の温室効果ガスを算定対象とする</p> <p>(3)を選択した場合、CO<sub>2</sub>以外のガスを算定対象とした段階について具体的に記入してください。</p> <p>(_____)</p> <p>6種類の温室効果ガスとは、CO<sub>2</sub>に加え、メタン(CH<sub>4</sub>)、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、ハイドロフルオロカーボン類(HFC)、パーフルオロカーボン類(PFC)、六ふっ化硫黄(SF<sub>6</sub>)</p>	
データ収 集の手順	申請 製品・ 技術	排熱回収装置の稼働に必要な水・電力について、技術導入先での実績データが得られなかったため、当社工場における装置利用に関するデータを活用。
	ベース ライン	排熱回収装置を導入しない場合(排熱回収装置において利用された排熱を用いて発電される電力と同量の電力を購入した場合)を想定。技術提供先2工場へのヒアリングにより、排熱利用装置を使用した場合の発電電力量を入手し、CO <sub>2</sub> 換算。
算定の手順	申請技術及びベースライン技術につき、Simple-LCAを用い、単位あたりの生産段階におけるCO <sub>2</sub> 排出量を算定し、両者の差に技術導入先工場における生産量合計を乗じて、年間のCO <sub>2</sub> 排出削減量を算定。	
製品・技術のCO <sub>2</sub> 削減に対する応募 事業者の研究開発 の寄与率 製品・技術が応募 事業者の研究開 発単独の成果で はない場合のみ。	寄与率設定の考 え方	
	寄与率	

データの根拠となる出典資料

データの根拠	
	技術提供先工場2社からの聞き取り
	当社工場実績データ
GHG換算係数の出典	
a	Simple-LCA
b	
c	

\*上記に挙げたデータの根拠となる出典資料(写しも可)を確認することがありますので、お手元に整理・保存しておいてください。

導入先における生産工程のCO<sub>2</sub>排出量(対象製品・技術)

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	電力	XXkWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
	水	XX kg	XXgCO <sub>2</sub> /kg	XX		a
ア ウ ト プ ット						
合計				XX		

\*「データの根拠となる出典資料」に挙げた資料の番号を記入してください。以下同じ。

\*ライフサイクルの各段階での重複のないように記入してください。以下同じ。

導入先における生産工程のCO<sub>2</sub>排出量(ベースライン製品・技術)

	項目	データ(単位)			出典*	
		収集データ	GHG 係数	排出量 (gCO <sub>2</sub> )	データ	GHG 係数
イン プ ット	購入電力	XX kWh	XXgCO <sub>2</sub> /kWh	XX		a
ア ウ ト プ ット						
合計				XX		

算定結果

	算定式	算定結果
1機能あたり CO <sub>2</sub> 排出削減量	ベースライン製品CO <sub>2</sub> 排出量 - 対象技術CO <sub>2</sub> 排出量	XX (gCO <sub>2</sub> , CO <sub>2</sub> -eq)
CO <sub>2</sub> 排出量削減率	(ベースライン技術によるCO <sub>2</sub> 排出量 - 対象技術によるCO <sub>2</sub> 排出量) / ベースライン技術によるCO <sub>2</sub> 排出量	XX (%)
合計 CO <sub>2</sub> 排出削減量 記入は任意です。	(ベースライン製品CO <sub>2</sub> 排出量 - 対象技術CO <sub>2</sub> 排出量) × 年間生産量	XX (gCO <sub>2</sub> , CO <sub>2</sub> -eq)